

令和6年度 地区別需給情報連絡協議会 アンケート調査結果

とりまとめ

令和7年1月
林野庁

目次

アンケート調査の概要.....	1
アンケート調査結果	2
【素材生産事業者】	2
【木材加工事業者】	14
【木材流通事業者】	20
【木材利用事業者】	29
【苗木生産事業者】	37
【事業者団体】	41
【森林整備センター】	44
【都道府県】	45

アンケート調査の概要

1. 調査対象及び回答者数

(1) 調査対象

「令和6年度 国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」地区別協議会構成員（学識経験者、森林管理局を除く） 317者

(2) 回答者数

271者

（内訳）素材生産事業者 17、木材加工事業者 47、木材流通事業者 51、
木材利用事業者 27、苗木生産事業者 20、事業者団体 56、
森林整備センター 8、都道府県 45

※ 回答者の申告に基づく分類。複数業種を行っており、1者が複数回回答している等の場合、個別の事業者として集計。

2. 調査項目

(1) 構成員情報

(2) 国産材（苗木）需給の見通しについて（今後3ヶ月程度、令和6年12月現在の状況との比較）

- ・需給動向について
- ・木材取引の現状について

(3) 需給情報連絡協議会及び毎月の需給情報の提供について

アンケート調査結果

【素材生産事業者】

1. 国産材（苗木）需給見通しについて（今後3か月程度、令和6年12月現在の状況との比較）

（1）原木価格について、直近3か月程度の動向を教えてください。

有効回答 17

例年以上の上昇傾向	3
例年並みの上昇傾向	1
横ばい傾向	7
例年並みの下落傾向	5
例年以上の下落傾向	1

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
例年以上の上昇傾向	0	0	0	0	2	0	1
例年並みの上昇傾向	0	0	1	0	0	0	0
横ばい傾向	0	0	1	1	1	1	3
例年並みの下落傾向	3	2	0	0	0	0	0
例年以上の下落傾向	1	0	0	0	0	0	0
計	4	2	2	1	3	1	4

（2）（1）の価格動向を踏まえて、直近3か月程度、どのような方針で原木を供給しようとしたか教えてください。

有効回答 17

原木供給量を増加	3
原木供給量を維持	10
原木供給量を減少	3
原木価格や需給の動向は考慮しなかった	1
その他	0

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
原木供給量を増加	0	0	0	0	1	0	2
原木供給量を維持	3	2	1	1	1	1	1
原木供給量を減少	1	0	1	0	1	0	0
原木価格や需給の動向は考慮しなかった	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0
計	4	2	2	1	3	1	4

(3)(2)の方針により、実際に原木を供給することができたか教えてください。

有効回答	17
できた	10
できなかった	6
明確な方針は立てなかった	1

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
できた	4	1	0	0	3	0	2
できなかった	0	1	2	1	0	1	1
明確な方針は立てなかった	0	0	0	0	0	0	1
計	4	2	2	1	3	1	4

(4)(3)で「できなかった」を選択した場合にお答えください。方針のとおりにより原木を供給できなかった制限要因として、影響が大きかったと考えられるものを3つまで教えてください。

有効回答	10
原木の販売先の確保	1
適当な伐採地の確保	1
原木生産を担う人材の確保	4
天候による影響（夏から秋にかけての高温や大雨など）	3
伐採後の再造林の確保	0
その他（具体的に）	1

その他（具体的な内容）：
山で丸太の出荷準備ができていても、山から出荷先に丸太を運搬するトレーラーが円滑に確保できなかった。

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
原木の販売先の確保	0	1	0	0	0	0	0
適当な伐採地の確保	0	0	1	0	0	0	0
原木生産を担う人材の確保	0	1	2	0	0	1	0
天候による影響（夏から秋にかけての高温や大雨など）	0	0	1	1	0	1	0
伐採後の再造林の確保	0	0	0	0	0	0	0
その他（具体的に）	0	0	0	0	0	0	1
計	0	2	4	1	0	2	1

(5) 原木伐採量について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

有効回答	17
増加	0
やや増加	2
変わらない	12
やや減少	3
減少	0
伐採しない	0

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	0
やや増加	0	0	1	0	0	0	1
変わらない	3	2	0	1	3	1	2
やや減少	1	0	1	0	0	0	1
減少	0	0	0	0	0	0	0
伐採しない	0	0	0	0	0	0	0
計	4	2	2	1	3	1	4

(6) 原木販売価格について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

有効回答	17
上昇	0
やや上昇	2
変わらない	10
やや下落	5
下落	0

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
上昇	0	0	0	0	0	0	0
やや上昇	0	0	0	0	1	0	1
変わらない	1	1	2	1	2	1	2
やや下落	3	1	0	0	0	0	1
下落	0	0	0	0	0	0	0
計	4	2	2	1	3	1	4

(7) 原木出荷量について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

【総計】

有効回答 153

増加	7
やや増加	12
変わらない	73
やや減少	12
減少	1

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	1	0	6
やや増加	0	0	0	0	7	0	5
変わらない	20	11	7	7	10	5	13
やや減少	2	2	5	0	0	0	3
減少	0	1	0	0	0	0	0
出荷しない	14	4	6	2	9	4	9
計	36	18	18	9	27	9	36

【出荷先別】

①原木市場・共販所向け

有効回答 17

増加	1
やや増加	1
変わらない	7
やや減少	2
減少	0
出荷しない	6

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	1
やや増加	0	0	0	0	0	0	1
変わらない	0	1	1	1	2	0	2
やや減少	1	0	1	0	0	0	0
減少	0	0	0	0	0	0	0
出荷しない	3	1	0	0	1	1	0
計	4	2	2	1	3	1	4

②木材流通事業者（商社、販売事業者等。市場、共販所を含まない）向け

有効回答

17

増加	1
やや増加	1
変わらない	8
やや減少	2
減少	0
出荷しない	5

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	1
やや増加	0	0	0	0	0	0	1
変わらない	2	1	1	1	1	0	2
やや減少	0	1	1	0	0	0	0
減少	0	0	0	0	0	0	0
出荷しない	2	0	0	0	2	1	0
計	4	2	2	1	3	1	4

③製材工場向け（直送）

有効回答

17

増加	1
やや増加	1
変わらない	12
やや減少	1
減少	0
出荷しない	2

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	1
やや増加	0	0	0	0	1	0	0
変わらない	4	1	1	1	2	1	2
やや減少	0	0	1	0	0	0	0
減少	0	0	0	0	0	0	0
出荷しない	0	1	0	0	0	0	1
計	4	2	2	1	3	1	4

④集成材工場向け（直送）

有効回答 17

増加	0
やや増加	0
変わらない	7
やや減少	1
減少	0
出荷しない	9

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	0
やや増加	0	0	0	0	0	0	0
変わらない	1	1	0	1	1	1	2
やや減少	0	1	0	0	0	0	0
減少	0	0	0	0	0	0	0
出荷しない	3	0	2	0	2	0	2
計	4	2	2	1	3	1	4

⑤合板・LVL 工場向け（直送）

有効回答 17

増加	1
やや増加	3
変わらない	10
やや減少	1
減少	0
出荷しない	2

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	1
やや増加	0	0	0	0	2	0	1
変わらない	3	2	1	1	1	1	1
やや減少	1	0	0	0	0	0	0
減少	0	0	0	0	0	0	0
出荷しない	0	0	1	0	0	0	1
計	4	2	2	1	3	1	4

⑥パルプ・チップ工場向け（直送）

有効回答 17

増加	1
やや増加	1
変わらない	10
やや減少	2
減少	0
出荷しない	3

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	1	0	0
やや増加	0	0	0	0	1	0	0
変わらない	4	1	1	1	1	1	1
やや減少	0	0	1	0	0	0	1
減少	0	0	0	0	0	0	0
出荷しない	0	1	0	0	0	0	2
計	4	2	2	1	3	1	4

⑦木質バイオマス発電向け（直送）（間伐材等由来の木質バイオマス）

有効回答 17

増加	1
やや増加	3
変わらない	9
やや減少	2
減少	0
出荷しない	2

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	1
やや増加	0	0	0	0	2	0	1
変わらない	3	2	1	1	1	1	0
やや減少	0	0	1	0	0	0	1
減少	0	0	0	0	0	0	0
出荷しない	1	0	0	0	0	0	1
計	4	2	2	1	3	1	4

⑧輸出向け

有効回答 17

増加	1
やや増加	1
変わらない	1
やや減少	1
減少	0
出荷しない	13

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	1
やや増加	0	0	0	0	0	0	1
変わらない	0	1	0	0	0	0	0
やや減少	0	0	0	0	0	0	1
減少	0	0	0	0	0	0	0
出荷しない	4	1	2	1	3	1	1
計	4	2	2	1	3	1	4

⑨その他向け（直送）

有効回答 17

増加	0
やや増加	1
変わらない	9
やや減少	0
減少	1
出荷しない	6

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	0
やや増加	0	0	0	0	1	0	0
変わらない	3	1	1	0	1	0	3
やや減少	0	0	0	0	0	0	0
減少	0	1	0	0	0	0	0
出荷しない	1	0	1	1	1	1	1
計	4	2	2	1	3	1	4

(8) 今後の見通しの判断に活用した情報を3つまで教えてください。

有効回答	37
協議会事務局からの木材需給動向等に関する、毎月の情報提供メール	6
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」	0
林野庁のその他の統計資料、会議資料	2
林野庁以外の省庁、地方自治体等の行政が公表する統計資料、会議資料	1
業界団体の会報等の情報提供	5
業界内や取引相手との情報交換	13
業界紙（日刊木材新聞等）	6
一般紙	2
その他（具体的に）	0
特に活用した情報はない	2

(9) 原木の販売価格をどのように決めているか教えてください。

有効回答	18
自社が主体となって決めている	1
販売先が主体となって決めている	5
自社と販売先の協議によって決めている	10
自社と販売先のいずれも販売価格を決めていない（競り売りにかけている等）	2

(10) 原木の販売価格を決める上で活用している情報を3つまで教えてください。

有効回答	39
木材需給動向	10
木材市売価格	11
業界紙等による木材市況情報	5
立木購入価格	2
山元の造林・保育コスト（再造林コスト）	1
原木の生産・流通コスト	3
原木の生産動向・出材量（季節、天候による影響等）	3
山元の資源在庫	1
その他（具体的に）	0
販売価格を決めたことはない（販売価格を決める立場にない）	3

(11) 立木の購入価格を決める上で活用している情報を3つまで教えてください。

有効回答	36
木材需給動向	8
木材市売価格	7
業界紙等による木材市況情報	4
原木の販売見込み価格	8
山元の造林・保育コスト（再造林コスト）	3
原木の生産動向・出材量（季節、天候による影響等）	2
山元の資源在庫	1
その他（具体的に）	1
立木購入価格を決めたことはない（立木買いをしたことがない）	2

(12) 自社と販売先との間で、過去5年間に発生したトラブルについて教えてください。
（複数選択可）

有効回答	17
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、納品後に契約内容から代金を減額された	0
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、代金が支払日に払われなかった	0
正当な理由なく又はあらかじめ定められた検査基準から著しく厳しい基準で検査されたこと等により、無償で納品のやり直しをさせられた	0
販売先の利益にしかならない業務のために、無償で契約外業務をさせられた	0
トラブルが発生したことはない	15
その他（具体的に）	2
その他（具体的な内容）： ・受入基準に該当しない場合は修正受入で対応 ・丸太検地の違い 当社20cm→取引相手18cm	

(13) 他社と当該他社の販売先との間で、過去5年間に発生したトラブルの情報について、聞いたことがあれば教えてください。（複数選択可）

有効回答	19
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、納品後に契約内容から代金を減額された	1
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、代金が支払日に払われなかった	1
正当な理由なく又はあらかじめ定められた検査基準から著しく厳しい基準で検査されたこと等により、無償で納品のやり直しをさせられた	1
販売先の利益にしかならない業務のために、無償で契約外業務をさせられた	0
トラブルの情報を聞いたことはない	15
その他（具体的に）	1
その他（具体的な内容）： ・値引き	

(14) 木材需給や価格及びそれらの今後の見通しについて、ご意見や関連情報がありましたら記載ください。(自由記述)

- ・(長崎県の森林組合系統からの木材供給について) 猛暑が続いて夏に計画されていた下刈り等の造林作業が計画通りに進まず、10月初旬ごろまで下刈りがずれ込むなどの状況があった。R6年夏から11月から12月は県内各地の森林組合で林産事業が本格化し、出材量は10月までと比べて大きく増加。R7年1月から3月頃まではR6年12月までと同程度か増加する見込み。
- ・(長崎県周辺の木材価格の今後の見込みについて) 1月頃までは現状を維持して高値で推移するのではないかと見込んでいるが、R6年11月以降原木の出材が増加してきており、R7年1月以降も順調に出材が進む見込みである一方、製材品や合板製品等の需要が低調のままで推移していることを踏まえると、2月以降特にヒノキの原木価格の値崩れが発生するのではないかと懸念。

2. 需給情報連絡協議会及び毎月の林野庁提供情報について

(1) 需給情報連絡協議会の運営や議論の内容に関するご意見・ご提案、協議会構成員と共有したい情報などありましたら、ご自由にご記載下さい。(自由記述)

- ・長崎県やその周辺地域では、物流の2024年問題の影響で原木をこれまでと同じようにスムーズに運搬することが困難。
- ・いわゆるモーダルシフトがおきていることから、全国各地で内航船の船員の取り合いが激化していることや、給与が高い半導体工場等で人を多く募集されていることから、長崎周辺の運送業界や海運業界等から人が転職しているという情報もある。
- ・長崎県の森林組合系統においては離島の森林組合からも原木を多く出荷しているが、これらの要因が関連して、長崎県内の離島地域から原木を出荷するための貨物船が手配できなくなっている。そのため原木が長期間港土場に滞留し、山で造材した原木を港に運べず山土場にも滞留して現場稼働に影響が出たり、原木の材質が低下して本来高く売れるはずの原木が安くでしか販売できない等の問題が発生。

(2) 協議会事務局が毎月行っている木材需給動向等に関するメール配信について、

①メール配信している情報の活用状況について教えてください。

有効回答	17
毎回情報を参考にしている	9
毎回ではないが、情報を参考にすることがある	6
メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない	1
メールを読んだことがない	1

②(設問①で「毎回ではないが、情報を参考にすることがある。」、又は「メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない。」、「メールを読んだことがない。」のいずれかを回答した方に質問します。) 配信している情報を活用しない理由について、最も当てはまるものを教えてください。

有効回答	8
掲載資料の構成が分かりづらい(メール本文がWebサイトへのリンクのみで、各資料の内容が分からない等)	1
資料のポイントが分かりづらい(グラフの読み解き方が分かりづらい等)	1
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を参考にしている	0
業界紙や一般紙を参考にしている	4
その他(具体的に)	2
その他(具体的な内容) : ・地元業界の情報(を参考にしている)	

③メール配信について、その他にご意見・ご提案などありましたら、ご自由にご記載下さい。

- ・回答なし

【木材加工事業者】

1. 国産材（苗木）需給見通しについて（今後3か月程度、令和6年12月現在の状況との比較）

（1）国産原木の仕入価格について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

有効回答	47
上昇	3
やや上昇	15
変わらない	19
やや下落	6
下落	3
取扱なし	1

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
上昇	0	1	1	0	0	1	0
やや上昇	0	4	0	4	2	2	3
変わらない	1	5	3	2	1	2	5
やや下落	3	0	2	1	0	0	0
下落	1	2	0	0	0	0	0
計	5	12	6	7	3	5	8

（2）国産原木入荷量について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

有効回答	47
増加	1
やや増加	9
変わらない	15
やや減少	15
減少	6
取扱なし	1

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	1	0	0	0	0	0
やや増加	1	3	1	2	0	1	1
変わらない	4	4	1	1	1	0	4
やや減少	0	3	3	3	2	2	2
減少	0	1	1	1	0	2	1
計	5	12	6	7	3	5	8

(3) 国産材製品販売価格について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

有効回答	47
上昇	0
やや上昇	8
変わらない	24
やや下落	12
下落	3
取扱いなし	0

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
上昇	0	0	0	0	0	0	0
やや上昇	0	2	1	1	1	2	1
変わらない	2	9	3	4	1	1	4
やや下落	4	1	1	2	1	2	1
下落	0	0	1	0	0	0	2
計	6	12	6	7	3	5	8

(4) 国産材製品出荷量について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

有効回答	47
増加	0
やや増加	7
変わらない	21
やや減少	16
減少	3
取扱いなし	0

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	0
やや増加	0	0	2	2	0	2	1
変わらない	4	8	1	2	2	2	2
やや減少	1	3	3	3	0	1	5
減少	1	1	0	0	1	0	0
計	6	12	6	7	3	5	8

(5) 今後の見通しの判断に活用した情報を3つまで教えてください。

有効回答	112
協議会事務局からの木材需給動向等に関する、毎月の情報提供メール	12
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」	2
林野庁のその他の統計資料、会議資料	5
林野庁以外の省庁、地方自治体等の行政が公表する統計資料、会議資料	3
業界団体の会報等の情報提供	16
業界内や取引相手との情報交換	35
業界紙（日刊木材新聞等）	32
一般紙	5
その他（具体的に）	0
特に活用した情報はない	2

(6) 製品の販売価格をどのように決めているか教えてください。

有効回答	49
自社が主体となって決めている	7
販売先が主体となって決めている	7
自社と販売先の協議によって決めている	35
自社と販売先のいずれも販売価格を決めていない（競り売りにかけている等）	0

(7) 製品の販売価格を決める上で活用している情報を3つまで教えてください。

有効回答	122
木材需給動向	29
木材市売価格	19
業界紙等による木材市況情報	21
原木購入価格	26
山元の造林・保育コスト（再造林コスト）	1
原木の生産・流通コスト	11
産地の原木の生産動向・出材量（季節、天候による影響等）	9
山元の資源在庫	0
その他（具体的に）	2
販売価格を決めたことはない（販売価格を決める立場にない）	4

その他（具体的な内容）： ・ 同業他社との競合 ・ 原木以外の原材料価格等

(8) 原木の購入価格を決める上で活用している情報を3つまで教えてください。

有効回答	128
木材需給動向	26
木材市売価格	24
業界紙等による木材市況情報	15
製品の販売見込み価格	21
山元の造林・保育コスト（再造林コスト）	4
原木の生産・流通コスト	14
産地の原木の生産動向・出材量（季節、天候による影響等）	19
山元の資源在庫	1
その他（具体的に）	2
原木購入価格を決めたことはない（購入価格を決める立場にない）	2
その他（具体的な内容）： ・域内の原木流通量（他社との競合） ・同業他社の情報（前回より上がったか下がったか）	

(9) 自社と販売先との間で、過去5年間に発生したトラブルについて教えてください。
(複数選択可)

有効回答	48
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、納品後に契約内容から代金を減額された	1
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、代金が支払日に払われなかった	0
正当な理由なく又はあらかじめ定められた検査基準から著しく厳しい基準で検査されたこと等により、無償で納品のやり直しをさせられた	2
販売先の利益にしかならない業務のために、無償で契約外業務をさせられた	3
トラブルが発生したことはない	41
その他（具体的に）	1
その他（具体的な内容）： ・委託販売品を想定以上に安い金額で販売された	

(10) 他社と当該他社の販売先との間で、過去5年間に発生したトラブルの情報について、聞いたことがあれば教えてください。(複数選択可)

有効回答	49
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、納品後に契約内容から代金を減額された	1
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、代金が支払日に払われなかった	1
正当な理由なく又はあらかじめ定められた検査基準から著しく厳しい基準で検査されたこと等により、無償で納品のやり直しをさせられた	2
販売先の利益にしかならない業務のために、無償で契約外業務をさせられた	2
トラブルの情報を聞いたことはない	43
その他（具体的に）	0

(11) 木材需給や価格及びそれらの今後の見通しについて、ご意見や関連情報がありましたら記載ください。(自由記述)

- ・国内需要があるにもかかわらず輸出の声が聞こえる現実国内の素材生産量の不安定。
- ・今後の木材の搬入数量の減が懸念される。
- ・需給バランスは崩れており、供給過多となっている。木材の需要を高めない限り、価格の転嫁も望めず、価格についても低迷が続くと思われる。
- ・住宅の構造計算が必須になる中で無垢構造材の需要を維持していくためには J A S 機械等級区分構造用製材をもっと柔軟な制度とし、かつ敷居を下げて製材所の労力負担を少なくする必要があると感じる。その中で含水率は S D 2 0 で十分としないと、S D 1 5 推奨では過乾燥によって無垢材の長所が失われている。このままでは集成材に益々シェアを奪われてしまい、構造材に関しては優秀な大型製材工場しか生き残れないのではと思う。
- ・原木は慢性的に不足気味で先行きは強含みで推移するものと予想するが、製品への価格転嫁を進めていけるかどうかが課題。
- ・原木生産状況をリアルタイムで発信して欲しい。
- ・他の発電所建設に伴い燃料の確保と原木単価の引き上げが事業に響く。岩手県内のチップが取引単価の高い他県への流出が見えてきている。大型発電所の未利用材比率のアップの動きが大きい。
- ・ 1. 年末は国有林の伐採が終了し民有林の伐採に変更となる端境期となり、原木の出材が減少し、原木需給バランスが崩れる。製材所は、虫害が減少する 9 月下旬以降に集材意欲が高まるため、この時期に国有林は製材向け原木の出材を増加するようお願いしたい。
2. 製品の販売価格に関しては、販売先（商社含む）と協議して決めており、一方的な価格決定はないが、価格協議に関しては買い手側に優先権がある。現状の需給バランスでは止む得ないと思うが、リーディングカンパニー等が主導して価格を上げてもらわないと値上げは難しい。
- ・一般住宅の低迷が継続しており、プレカット工場は非住宅物件でカバーしている状況。年明け以降も厳しい見通しの先が多く、どの業界も生き残りを賭けた体力勝負の様相。集成材の販売は大きな変化は無いが、製品価格の値下げにより少しずつ海外製品からのシェア奪還の手応えを感じている。
- ・製紙用チップの需要は堅調であるが針葉樹チップは A.B の需要低迷により、原木調達が不足し、生産に支障を来している。広葉樹チップは用材が高値で推移し、広葉樹生産の活発化により需要量を上回っている。物流の 2024 問題はトラック輸送費の値上がりのみならず、輸送効率の再検討をせまられ、チップ製品、原木運搬に多大な影響を及ぼしている。トラックの大幅な台数が必要。
- ・製品価格の下げは止まったものの、不需要期でもあり市況の回復は不透明。原木の集荷は今まで同様、状況に応じた対応になると思われる。
- ・流通業者による価格の決定が主導的に行われている実態から変えていかないと林業・製材業が保てなくなる。

2. 需給情報連絡協議会及び毎月の林野庁提供情報について

(1) 需給情報連絡協議会の運営や議論の内容に関するご意見・ご提案、協議会構成員と共有したい情報などありましたら、ご自由にご記載下さい。(自由記述)

- ・現実味のある現場の本音の話が聞きたい。
- ・何年も同じ議論を繰り返しており、抜本的な改善がみられない。協議会を行うことによって需給バランスがどれほど改善されているのかわからないし見えない。本当の川下（ハウスメーカー）の意見も聞いてみたい。
- ・原木生産状況。

(2) 協議会事務局が毎月行っている木材需給動向等に関するメール配信について、

①メール配信している情報の活用状況について教えてください。

有効回答	46
毎回情報を参考にしている	21
毎回ではないが、情報を参考にすることがある	20
メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない	3
メールを読んだことがない	2

②（設問①で「毎回ではないが、情報を参考にすることがある。」、又は「メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない。」、「メールを読んだことがない。」のいずれかを回答した方に質問します。）配信している情報を活用しない理由について、最も当てはまるものを教えてください。

有効回答	27
掲載資料の構成が分かりづらい（メール本文がWebサイトへのリンクのみで、各資料の内容が分からない等）	2
資料のポイントが分かりづらい（グラフの読み解き方が分かりづらい等）	2
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を参考にしている	4
業界紙や一般紙を参考にしている	18
その他（具体的に）	1

具体的な内容：

- ・欲しい情報があまりない

③メール配信について、その他にご意見・ご提案などありましたら、ご自由にご記載下さい。

(自由記述)

- ・興味のある情報を配信して欲しい現実、今何をしないといけないか?をもっと協議しないといけないのでは。

【木材流通事業者】

1. 国産材（苗木）需給見通しについて（今後3か月程度、令和6年12月現在の状況との比較）

（1）国産材仕入価格について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

①国産原木

有効回答 51

上昇	3
やや上昇	12
変わらない	22
やや下落	2
下落	1
取扱なし	11

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
上昇	0	1	0	0	2	0	0
やや上昇	0	2	2	2	1	1	4
変わらない	3	2	6	4	3	2	2
やや下落	1	0	0	1	0	0	0
下落	0	0	1	0	0	0	0
計	4	5	9	7	6	3	6

②国産材製品

有効回答 51

上昇	0
やや上昇	13
変わらない	11
やや下落	4
下落	0
取扱なし	23

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
上昇	0	0	0	0	0	0	0
やや上昇	0	4	4	2	2	0	1
変わらない	2	0	4	1	2	0	2
やや下落	1	0	0	2	0	1	0
下落	0	0	0	0	0	0	0
計	3	4	8	5	4	1	3

(2) 国産材入荷量について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

①国産原木

有効回答 51

増加	2
やや増加	9
変わらない	16
やや減少	13
減少	7
取扱なし	4

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	1	0	0	1	0	0	0
やや増加	1	3	3	0	0	0	2
変わらない	2	1	2	4	3	1	3
やや減少	0	0	4	2	1	3	3
減少	0	1	1	1	3	1	0
計	4	5	10	8	7	5	8

②国産材製品

有効回答 51

増加	0
やや増加	3
変わらない	18
やや減少	5
減少	1
取扱なし	24

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	0
やや増加	0	2	0	0	0	1	0
変わらない	3	1	7	4	1	0	2
やや減少	0	0	0	1	3	0	1
減少	0	1	0	0	0	0	0
計	3	4	7	5	4	1	3

(3) 国産材販売価格について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

①国産原木

有効回答 51

上昇	4
やや上昇	17
変わらない	20
やや下落	8
下落	0
取扱なし	2

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
上昇	0	1	1	0	1	0	1
やや上昇	0	1	3	3	4	1	5
変わらない	1	3	5	5	2	3	1
やや下落	3	0	2	0	0	2	1
下落	0	0	0	0	0	0	0
計	4	5	11	8	7	6	8

②国産材製品

回答数 51

増加	0
やや増加	8
変わらない	16
やや減少	3
減少	0
取扱なし	24

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	0
やや増加	0	2	3	2	1	0	0
変わらない	2	2	4	3	2	0	3
やや減少	1	0	0	0	1	1	0
減少	0	0	0	0	0	0	0
計	3	4	7	5	4	1	3

(4) 国産材出荷量について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

①国産原木

有効回答 51

増加	3
やや増加	8
変わらない	18
やや減少	12
減少	4
取扱なし	6

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	1	0	1	1	0	0	0
やや増加	0	3	2	0	1	0	2
変わらない	3	1	5	4	2	1	2
やや減少	0	0	2	3	2	3	2
減少	0	1	1	0	2	0	0
計	4	5	11	8	7	4	6

②国産材製品

有効回答 51

増加	0
やや増加	3
変わらない	17
やや減少	6
減少	1
取扱なし	24

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	0
やや増加	0	3	0	0	0	0	0
変わらない	3	0	6	3	2	0	3
やや減少	0	0	1	2	2	1	0
減少	0	1	0	0	0	0	0
計	3	4	7	5	4	1	3

(5) 今後の見通しの判断に活用した情報を3つまで教えてください。

有効回答	121
協議会事務局からの木材需給動向等に関する、毎月の情報提供メール	19
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」	6
林野庁のその他の統計資料、会議資料	4
林野庁以外の省庁、地方自治体等の行政が公表する統計資料、会議資料	2
業界団体の会報等の情報提供	8
業界内や取引相手との情報交換	43
業界紙（日刊木材新聞等）	36
一般紙	1
その他（具体的に）	2
特に活用した情報はない	3

その他（具体的な内容）： ・ 共販（原木市場）の状況 ・ 取引先等、市況等の情報交流
--

(6) 製品の販売価格をどのように決めているか教えてください。

有効回答	58
自社が主体となって決めている	3
販売先が主体となって決めている	9
自社と販売先の協議によって決めている	29
自社と販売先のいずれも販売価格を決めていない（競り売りにかけている等）	17

(7) 製品の販売価格を決める上で活用している情報を3つまで教えてください。

有効回答	124
木材需給動向	29
木材市売価格	27
業界紙等による木材市況情報	14
原木・製品の購入価格	15
山元の造林・保育コスト（再造林コスト）	2
原木の生産・流通コスト	12
製品の生産・流通コスト	2
産地の原木の生産動向・出材量（季節、天候による影響等）	13
山元の資源在庫	0
その他（具体的に）	4
原木・製品の販売価格を決めたことはない（販売価格を決める立場にない）	6

その他（具体的な内容）： ・ 市場については入札なのでお客様が決める。直送については、若干協議はするが、基本的には工場が提示した値段で販売。 ・ 取引先等の情報交流 ・ 超大型工場の打ち出す価格
--

(8) 原木の購入価格を決める上で活用している情報を3つまで教えてください。

有効回答	117
木材需給動向	29
木材市売価格	26
業界紙等による木材市況情報	16
山元の造林・保育コスト（再造林コスト）	2
原木の生産・流通コスト	12
製品の生産・流通コスト	3
産地の原木の生産動向・出材量（季節、天候による影響等）	17
山元の資源在庫	0
その他（具体的）	4
原木・製品の購入価格を決めたことはない（購入価格を決める立場にない）	8
その他（具体的な内容）： ・購入販売なし	

(9) 自社と販売先との間で、過去5年間に発生したトラブルについて教えてください。
(複数選択可)

有効回答	52
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、納品後に契約内容から代金を減額された	1
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、代金が支払日に払われなかった	6
正当な理由なく又はあらかじめ定められた検査基準から著しく厳しい基準で検査されたこと等により、無償で納品のやり直しをさせられた	1
販売先の利益にしかない業務のために、無償で契約外業務をさせられた	0
トラブルが発生したことはない	41
その他（具体的に）	3
その他（具体的な内容）： ・原木品質の擦り合わせ ・価格の値上げをお願いしているが、全く対応してもらえない。 事前に安全協力費等の話が無いまま見積書を出し、決定後契約段階で初めて知り、安全協力費を差し引きされた。 ・一部の買方が、落札原木の引取りを促しても運び出さず、土場の占有期間が長くなってしまうことが常態となっている。	

(10) 他社と当該他社の販売先との間で、過去5年間に発生したトラブルの情報について、聞いたことがあれば教えてください。(複数選択可)

有効回答	56
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、納品後に契約内容から代金を減額された	2
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、代金が支払日に払われなかった	4
正当な理由なく又はあらかじめ定められた検査基準から著しく厳しい基準で検査されたこと等により、無償で納品のやり直しをさせられた	2
販売先の利益にしかならない業務のために、無償で契約外業務をさせられた	6
トラブルの情報を聞いたことはない	42
その他（具体的に）	0

(11) 木材需給や価格及びそれらの今後の見通しについて、ご意見や関連情報がありましたら記載ください。(自由記述)

- ・ 木材需給において山側の増産・供給が難しい環境が続いている。主な要因としては慢性的な人手不足、生産コスト増、社会環境の変化からくる山側の負担増などである。また物流環境の変化も大きく影響しており、原木流通のコスト増が山側への大きな負担となっている。直近、原木不足から価格上昇も見られるが一時的な出材増はあっても根本的な解決には繋がらず、長期的には不足が続くと考えられる。国産原木の供給安定の為に需要側の早い需要発信と長期的な価格維持を求めたい。また行政の後押しもこれに必要と考える。
- ・ 現状は住宅着工数の減少から各業界苦戦を強いられている状況ではあるが、一方で非住宅物件等の増加もあり需給のバランスに偏りがでてきている上、物流のコスト上昇や輸入材の供給不安定も加わり先行きが非常に不透明になっている。ウッドショック等の外的要因での価格上昇の後、下落したものが一部反転しているが他物資に比してその上昇は低く抑えられている状態であり価格変動は今後も続くものと思われる。
- ・ 近隣の大型需要先の受入れ価格と共販所での相場の差が小さくなっており原木集荷に非常に苦労している。今後は降雪により一層原木の出材量が減少することが危惧される。

2. 需給情報連絡協議会及び毎月の林野庁提供情報について

(1) 需給情報連絡協議会の運営や議論の内容に関するご意見・ご提案、協議会構成員と共有したい情報などありましたら、ご自由にご記載下さい。(自由記述)

- ・ 県別及び樹種別の山元の造林・保育コスト。
- ・ 夏場（6月～9月）に多く伐採することは、虫害や歩留まりの観点から低質材以外は基本的に良いことはない。年間のスケジュールを需要側と供給側がしっかりと情報共有すべき。
- ・ 原木トラック運送業者は厳しい状況におかれている。労務費の上昇、トラック車両の価格高騰、燃料の高騰、過積載問題、2024年問題（輸送規制）・・・等々、厳しい環境下におかれている。原木価格が上がらない中、輸送コストUP分を運送費に転換できなく経営が行き詰っている状況。木材業界としても検討しなければならない大きな問題。
- ・ 各業界が抱える課題や問題点があるため、川上・川中・川下による意見を取りまとめたうえで情報共有できれば良い。開催もWeb開催ではなく対面開催が望ましい。
- ・ 木材製材品の輸出入動向の詳細。
- ・ 協議会は各地域・各業者が参加している場であるので川下からは半年先の原木需要を協議会を通じて川上に発信して欲しい。山側からの原木供給は需要に対し、すぐには対応出来ないで現在の情報も大事だがより先の情報が必要となってくる。需給連絡の場であるなら特にこの点に注力して欲しい。

(2) 協議会事務局が毎月行っている木材需給動向等に関するメール配信について、

①メール配信している情報の活用状況について教えてください。

有効回答	51
毎回情報を参考にしている	21
毎回ではないが、情報を参考にすることがある	25
メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない	3
メールを読んだことがない	2

②（設問①で「毎回ではないが、情報を参考にすることがある。」、又は「メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない。」、「メールを読んだことがない。」のいずれかを回答した方に質問します。）配信している情報を活用しない理由について、最も当てはまるものを教えてください。

有効回答

24

掲載資料の構成が分かりづらい（メール本文がWebサイトへのリンクのみで、各資料の内容が分からない等）	1
資料のポイントが分かりづらい（グラフの読み解き方が分かりづらい等）	6
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を参考にしている	2
業界紙や一般紙を参考にしている	10
その他	5

具体的な内容：

- ・ 同業者や取引先様の情報を優先し参考にしているため
 - ・ 全国的見地だと地域特性を反映できない
 - ・ 情報を活用していないわけではない。
- 掲載情報は過去の結果であり、今の価格や今後の情勢は、それらのいただいた情報も参考にして、自らの足と耳で生の情報収集して判断することと考えている。

③メール配信について、その他にご意見・ご提案などありましたら、ご自由にご記載下さい。

（自由記述）

- ・ 回答なし

【木材利用事業者】

1. 国産材（苗木）需給見通しについて（今後3か月程度、令和6年12月現在の状況との比較）

（1）国産材仕入価格について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

①国産原木

有効回答 27

上昇	3
やや上昇	6
変わらない	10
やや下落	0
下落	1
取扱なし	7

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
上昇	1	1	0	0	1	0	0
やや上昇	0	1	1	1	1	1	1
変わらない	2	2	0	1	4	0	1
やや下落	0	0	0	0	0	0	0
下落	1	0	0	0	0	0	0
計	4	4	1	2	6	1	2

②国産材製品

有効回答 27

上昇	3
やや上昇	8
変わらない	13
やや下落	1
下落	0
取扱なし	2

（参考）地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
上昇	0	1	0	0	1	1	0
やや上昇	0	1	1	2	2	1	1
変わらない	5	2	0	0	2	2	2
やや下落	0	0	0	0	1	0	0
下落	0	0	0	0	0	0	0
計	5	4	1	2	6	4	3

(2) 国産材入荷量について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

①国産原木

有効回答 27

増加	0
やや増加	2
変わらない	7
やや減少	8
減少	3
取扱なし	7

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	0
やや増加	1	1	0	0	0	0	0
変わらない	2	1	0	0	3	0	1
やや減少	0	1	1	1	3	1	1
減少	1	1	0	1	0	0	0
計	4	4	1	2	6	1	2

②国産材製品

有効回答 27

増加	0
やや増加	1
変わらない	15
やや減少	6
減少	2
取扱なし	3

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	0	0	0	0	0	0
やや増加	0	0	0	1	0	0	0
変わらない	5	1	0	0	4	3	2
やや減少	0	1	1	1	2	0	1
減少	0	1	0	0	0	1	0
計	5	3	1	2	6	4	3

(3) 最終製品（建築物及び電気を含む）の販売価格について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

有効回答

27

上昇	1
やや上昇	6
変わらない	19
やや下落	1
下落	0
取扱いなし	0

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
上昇	1	0	0	0	0	0	0
やや上昇	1	0	1	0	3	0	1
変わらない	4	4	0	2	3	4	2
やや下落	1	0	0	0	0	0	0
下落	0	0	0	0	0	0	0
計	7	4	1	2	6	4	3

(4) 最終製品（建築物及び電気を含む）の出荷量について、今後3か月程度の見通しを教えてください。

有効回答

27

増加	1
やや増加	2
変わらない	19
やや減少	4
減少	1
取扱いなし	0

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	1	0	0	0	0	0	0
やや増加	2	0	0	0	0	0	0
変わらない	3	4	0	2	4	4	2
やや減少	1	0	1	0	1	0	1
減少	0	0	0	0	1	0	0
計	7	4	1	2	6	4	3

(5) 今後の見通しの判断に活用した情報を3つまで教えてください。

有効回答	60
協議会事務局からの木材需給動向等に関する、毎月の情報提供メール	6
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」	6
林野庁のその他の統計資料、会議資料	6
林野庁以外の省庁、地方自治体等の行政が公表する統計資料、会議資料	2
業界団体の会報等の情報提供	5
業界内や取引相手との情報交換	17
業界紙（日刊木材新聞等）	10
一般紙	4
その他（具体的に）	3
特に活用した情報はない	1
その他（具体的な内容）： ・ 不要 ・ 取引先との交渉内容 ・ 林業事業者からの情報	

(6) 最終製品（建築物及び電気を含む）の販売価格をどのように決めているか教えてください。

有効回答	27
自社が主体となって決めている	6
販売先が主体となって決めている	1
自社と販売先の協議によって決めている	18
自社と販売先のいずれも販売価格を決めていない（競り売りにかけている等）	2

(7) 最終製品（建築物及び電気を含む）の販売価格を決める上で活用している情報を3つまで教えてください。

有効回答	52
木材需給動向	8
木材市売価格	2
業界紙等による木材市況情報	3
木材製品の購入価格	9
山元の造林・保育コスト（再造林コスト）	0
原木の生産・流通コスト	6
製品の生産・流通コスト	14
産地の原木の生産動向・出材量（季節、天候による影響等）	4
山元の資源在庫	0
その他（具体的に）	1
販売価格を決めたことはない（販売価格を決める立場にない）	5
その他（具体的な内容）： ・ FIT制度で売電価格が決まっている	

(8) 木材製品の購入価格を決める上で活用している情報を3つまで教えてください。

有効回答	66
木材需給動向	11
木材市売価格	7
業界紙等による木材市況情報	6
最終製品（建築物及び電気を含む）の需給動向	7
山元の造林・保育コスト（再造林コスト）	1
原木の生産・流通コスト	8
木材製品の生産・流通コスト	17
産地の原木の生産動向・出材量（季節、天候による影響等）	5
山元の資源在庫	1
その他（具体的に）	2
木材製品の購入価格を決めたことはない（購入価格を決める立場にない）	1
その他（具体的な内容）： ・取引先や商社からの情報による ・販売元との折衝	

(9) 自社と販売先との間で、過去5年間に発生したトラブルについて教えてください。
(複数選択可)

有効回答	27
正当な理由なく（販売先の一時的な都合により）、納品後に契約内容から代金を減額された。	1
正当な理由なく（販売先の一時的な都合により）、代金が支払日に払われなかった。	0
正当な理由なく又はあらかじめ定められた検査基準から著しく厳しい基準で検査されたこと等により、無償で納品のやり直しをさせられた。	0
販売先の利益にしかならない業務のために、無償で契約外業務をさせられた。	0
トラブルが発生したことはない。	26
その他（具体的に）	0

(10) 他社と当該他社の販売先との間で、過去5年間に発生したトラブルの情報について、聞いたことがあれば教えてください。(複数選択可)

有効回答	27
正当な理由なく（販売先の一時的な都合により）、納品後に契約内容から代金を減額された。	1
正当な理由なく（販売先の一時的な都合により）、代金が支払日に払われなかった。	0
正当な理由なく又はあらかじめ定められた検査基準から著しく厳しい基準で検査されたこと等により、無償で納品のやり直しをさせられた。	0
販売先の利益にしかならない業務のために、無償で契約外業務をさせられた。	0
トラブルの情報を聞いたことはない。	25
その他（具体的に）	1
具体的な内容： ・入荷量の減少、キャンセル程度	

(11) 木材需給や価格及びそれらの今後の見通しについて、ご意見や関連情報がありましたら記載ください。(自由記述)

- ・北海道はバイオマス発電所が乱立しており既存産業への木材供給に支障が出ている。原木価格もバイオマス企業が補助金を盾に吊り上げているため慢性的な丸太不足。行政は何も歯止めを掛けない。
- ・関東圏での木質燃料チップの原材料である廃木材の発生量は、木造住宅着工棟数の減少などの影響から減少傾向が継続している状況の中、今後バイオマス発電所の新設や増設があり燃料チップ需要が増加傾向にある。その為、燃料チップの奪い合いは避けられず今後益々大きな懸念である。尚、当アンケート問いの原木は住宅解体材を指し、中間処理施設への入荷量は減少、処分業者は処分価格を安くし、集荷量確保。通常の仕入原木見合いでは価格上昇と見做している。
- ・住宅価格の高止まり（2 から 3 割）の影響か、見込み客来場が減少したままである。各自、SNS など新しい営業にトライしているのが現状である。これは木材価格が多少下がっても解消されるものでないと思う。これに加えて 4 月からの法改正により審査機関が多忙で滞る可能性があり、結果さらなる着工数の減少を招くため、地方工務店はますます経営悪化を余儀なくされる。
- ・個人的な意見にはなるが、集材は、詰まるところ補助金による影響も大きく、政府の政策としても万民に益となるよう考慮された取組みとなるようにして配慮してもらうのが良い。それによって需給や価格もまた変わっていくのは見えているので、本当に何が今必要なことであり、国民が欲しているものが何かということを具に分析して政府には対応してほしい。
- ・C 材 D 材の搬出情報、価格情報が欲しい。
- ・新築住宅着工件数の減少により用材向け需要が減ると思われる。付加価値の高い新たな木材需要の創出が必要。

2. 需給情報連絡協議会及び毎月の林野庁提供情報について

(1) 需給情報連絡協議会の運営や議論の内容に関するご意見・ご提案、協議会構成員と共有したい情報などありましたら、ご自由にご記載下さい。(自由記述)

- ・リアルタイム感にかけている為、この様なアンケートを送った段階で他社の方が情報共有できるようにしてくれたら良い。(アンケートをまとめて閲覧できるようになる頃には情報が古い場合がある為)
- ・大型木造施設のためにも一般材の炭素発生の低い乾燥方法による大量ストックを県域で解決しなければならない。また、合わせて商流の改革などを成し遂げない限り、末端の山林技術者不足は解決しない。今、地域工務店の関心事は来秋から始まる J-CAT の運用で、地域の家づくり産業が有利になると思われることである。
- ・情報提供に感謝。継続して本情報を提供いただきたい。
- ・人手不足への対応、林業従事者の就労者数を増やすための取り組み。

(2) 協議会事務局が毎月行っている木材需給動向等に関するメール配信について、

①メール配信している情報の活用状況について教えてください。

有効回答	27
毎回情報を参考にしている	15
毎回ではないが、情報を参考にすることがある	9
メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない	1
メールを読んだことがない	2

②(設問①で「毎回ではないが、情報を参考にすることがある。」、又は「メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない。」、「メールを読んだことがない。」のいずれかを回答した方に質問します。) 配信している情報を活用しない理由について、最も当てはまるものを教えてください。

有効回答	11
掲載資料の構成が分かりづらい(メール本文がWebサイトへのリンクのみで、各資料の内容が分からない等)	0
資料のポイントが分かりづらい(グラフの読み解き方が分かりづらい等)	2
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を参考にしている	0
業界紙や一般紙を参考にしている	7
その他(具体的に)	2

具体的な内容：

- ・時間に余裕がない場合がある。
- ・メールを受信していない。

③メール配信について、その他にご意見・ご提案などありましたら、ご自由にご記載下さい。

(自由記述)

- ・もうちょっと頻度が多くても良い。
- ・メール配信に登録したい。

【苗木生産事業者】

(1) 苗木の出荷量について、令和7年の春植のための見通しを教えてください。

有効回答	20
増加	1
やや増加	10
変わらない	5
やや減少	4
減少	0
取扱なし	0

(参考) 地域別

	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
増加	0	1	0	0	0	0	0
やや増加	1	1	1	1	1	0	5
変わらない	0	2	1	2	0	0	0
やや減少	0	0	1	1	1	1	0
減少	0	0	0	0	0	0	0
計	1	4	3	4	2	1	5

(2) 今後の見通しの判断に活用した情報を3つまで教えてください。

有効回答	37
協議会事務局からの木材需給動向等に関する、毎月の情報提供メール	1
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」	0
林野庁のその他の統計資料、会議資料	6
林野庁以外の省庁、地方自治体等の行政が公表する統計資料、会議資料	10
業界団体の会報等の情報提供	2
業界内や取引相手との情報交換	14
業界紙（日刊木材新聞等）	1
一般紙	1
その他（具体的に）	2
特に活用した情報はない	2

その他（具体的な内容）： ・長野県需給連絡会議 ・林業用種苗需給連絡協議会資料
--

(3) 自社と苗木取引の相手方との間で、過去5年間に発生したトラブルについて教えてください。

有効回答

5

正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、納品後に契約内容から代金を減額された。	1
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、代金が支払日に払われなかった。	1
正当な理由なく又はあらかじめ定められた検査基準から著しく厳しい基準で検査されたこと等により、無償で納品のやり直しをさせられた。	0
販売先の利益にしかない業務のために、無償で契約外業務をさせられた。	0
トラブルが発生したことはない。	0
その他（具体的に）	3

その他（具体的な内容）：

- ・取引先において勝手に振込手数料を代金から差し引かれて振り込まれた
- ・取引相手方と契約書を取り交さず電話1本での注文が多いため、簡単にキャンセルされてしまうことがある
- ・急な本数の減

(4) 他社と当該他社の苗木取引の相手方との間で、過去5年間に発生したトラブルの情報について、聞いたことがあれば教えてください。

有効回答

21

正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、納品後に契約内容から代金を減額された。	0
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、代金が支払日に払われなかった。	0
正当な理由なく又はあらかじめ定められた検査基準から著しく厳しい基準で検査されたこと等により、無償で納品のやり直しをさせられた。	1
販売先の利益にしかない業務のために、無償で契約外業務をさせられた。	1
トラブルの情報を聞いたことはない。	19
その他（具体的に）	0

(5) 苗木の需給状況や今後の見通しについて、ご意見や関連情報がありましたら記載ください。

(自由記述)

- ・苗木生産者が今年2名減となる見込み、苗木の需要はあまり見込めない。国の花粉対策は、理解しがたい。伐採量を3倍計画しているが、伐採する基盤整備や人員養成などがなく、絵空事としか思えない。都道府県ごとの実情が把握されていないように思える。
- ・優良な苗木の必要量の確保と安定的な生産をするためには、優良な種の安定確保が重要であるが、種の確保は生産者任せにされているところがあり、国、県等が重要な施策として位置づけ、予算付けする必要があると考える。
- ・林業行政側からの情報として、当年度の確実な苗木需要量、次年度の苗木需要見込み、今後の苗木の需要見通しや動向について正確で具体的な情報提供があれば供給側として有効である。
- ・山形県では年2回、県主催にて「山形県林業用種苗生産需給調整協議会」が開催されており、種苗組合他、管理局、管理署、整備センター、県等が参加し、山行苗木需給計画を共有している。但しあくまで見込の情報であり、実績とかなり差異が出る場合がある為、需給どちらも精度を上げることが課題となっている。
- ・需要者側が必要とする苗木の植栽計画が当該年度にしか判明しないため、苗木の過不足が生じている。突然の需要増で苗が不足する時は不満を言われ、需要の減少で苗が余っても何の補償もなく焼却処分するしかない場合もある。需要者には2年先の植栽計画を立てて、何（樹種・品種・必要とする規格）をどれだけ（何本）必要とするのかを前もって提示してもらえると、生産者側は余裕を持って苗木供給ができ、廃棄ロスを減らすことができる。
- ・広葉樹の需要増。
- ・急増する少花粉コンテナ苗需要に対応するため、生産機械の導入や施設整備等により供給体制の整備を図っている。少花粉コンテナ苗の生産量は今後増加していく見通しだが、春から夏にかけての異常高温と無降雨期間の長期化など、非常に厳しい気象条件が続いており、令和6苗木年度については需要を下回る生産見込みとなっている。
- ・本県における山行苗木の不足が広く周知されたことに伴い、関連業種、他業種からの参入が急増し、この6年で組合員数は倍増し42名となった。特に令和5年度のみで12名が加入した。5年、10年先の需給状況はかなり異なった物となっていくと思われる。
- ・現在、伐採がどんどん行われて国・民有林とも植栽が大幅に増えているため不足が生じているので、国と県ができる限り情報交換を行い苗木の植栽の調整を行っていただきたい。
- ・今後は山行苗木の需要が年々増える予想がある中、現在、苗木生産を行っている生産者の方々の高齢化及び後継者不在による廃業予定も見受けられ、造林者から求められる苗木需要に対応するため苗木業界としては新規参入事業者の確保と既存生産者の生産拡大に取り組む必要がある。

2. 需給情報連絡協議会及び毎月の林野庁提供情報について

- (1) 需給情報連絡協議会の運営や議論の内容に関するご意見・ご提案、協議会構成員と共有したい情報などありましたら、ご自由にご記載下さい。(自由記述)

・苗木の生産には2年程度必要となるため、計画的な生産ができるように、3年先までの正確な需要を提供していただきたい。

- (2) 協議会事務局が毎月行っている木材需給動向等に関するメール配信について、

- ①メール配信している情報の活用状況について教えてください。

有効回答	20
毎回情報を参考にしている	3
毎回ではないが、情報を参考にすることがある	5
メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない	11
メールを読んだことがない	1

- ②(設問①で「毎回ではないが、情報を参考にすることがある。」、又は「メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない。」、「メールを読んだことがない。」のいずれかを回答した方に質問します。) 配信している情報を活用しない理由について、最も当てはまるものを教えてください。

有効回答	16
掲載資料の構成が分かりづらい(メール本文がWebサイトへのリンクのみで、各資料の内容が分からない等)	0
資料のポイントが分かりづらい(グラフの読み解き方が分かりづらい等)	4
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を参考にしている	1
業界紙や一般紙を参考にしている	2
その他	9

具体的な内容：

- ・苗木関係情報が少ない。
- ・特に参考となる情報がない。
- ・苗木需給情報との関連が薄いため。
- ・苗木の需給に関する情報がないため。
- ・苗木は余り関連がないように感じます。

- ③メール配信について、その他にご意見・ご提案などありましたら、ご自由にご記載下さい。

(自由記述)

- ・回答なし

【事業者団体】

(1) 貴業界の主要取扱い商品について、需給動向の把握や今後の見通しの判断に活用している材料を3つまで教えてください。

有効回答	162
協議会事務局からの木材需給動向等に関する、毎月の情報提供メール	31
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」	21
林野庁のその他の統計資料、会議資料	26
林野庁以外の省庁、地方自治体等の行政が公表する統計資料、会議資料	7
業界団体の会報等の情報提供	17
業界内や取引相手との情報交換	21
業界紙（日刊木材新聞等）	33
一般紙	5
その他（具体的に）	1
特に活用した情報はない	0
具体的な内容： ・ 輸入材の在庫量推移 ・ 全建総連他、関係団体機関紙等	

(2) 貴業界の会員と当該会員の販売先との間で、過去5年間に発生したトラブルについて教えてください。（複数選択可）

有効回答	56
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、納品後に契約内容から代金を減額された。	1
正当な理由なく（販売先の一方的な都合により）、代金が支払日に払われなかった。	2
正当な理由なく又はあらかじめ定められた検査基準から著しく厳しい基準で検査されたこと等により、無償で納品のやり直しをさせられた。	0
販売先の利益にしかない業務のために、無償で契約外業務をさせられた。	0
トラブルの情報を聞いたことはない。	49
その他（具体的に）	4
具体的な内容： ・ 建設事業者に木造建築物設計用の見積書を提出、暫くして木工事に必要な建材を短期間のうちに納材するよう依頼を受けるも、納期不足により納材を断らざるを得ない状況となる。（いわゆるお断り納材） ・ 材質が悪いため減額された事例はある。 ・ 理由無く出荷制限がかけられた。	

(3) 木材需給や価格及びそれらの今後の見通しについて、ご意見や関連情報がありましたら記載ください。(自由記述)

- ・原木価格が上昇している中で、製品価格は値下げされてきている。需要減退による減産もあり、非常に厳しい状況が続いている。
- ・住宅着工が80万戸割れも考えられる状況の中、建築材、合板需要も低迷し、梱包材の需要も少なく、北海道の木材需要の明るい兆しは見えない状況と考えます。このような中であって、伐採量、素材生産量は増加傾向にあり、現状、素材生産事業者の仕事は十分以上にあるが、この状況が長く続くことで、近い将来、素材生産量への影響も懸念される。
- ・新築住宅着工戸数の減少により、木材需要の減退感がある。また、木材価格も安値安定的である。
- ・製品の業績が悪化しているため、合板等の納材数量が減少している。
- ・本県においても新築住宅の減少化傾向にあり、木材需要が減少している。木材価格も低下傾向の模様で公共施設での木材利用が重要。
- ・住宅着工戸数が減少傾向にあり、製材業界を巡る状況は極めて厳しい。
- ・今後、国産材・外材共に需給バランスが崩れる可能性はあるが、市場における急激な価格変動(上昇)に注視する必要がある。
- ・製材品の需要・市況が厳しい中で、宮崎県では原木価格が比較的高値で維持してきている。製材品の見通しが今後も暗い中で、いつ、原木の方に影響し、価格が下がるが懸念している。一方で、山からの原木の出材量は減ってきており、供給が今後伸びることはないと思っている。さらに、輸出やパルプ用のC材の需要は高く、バイオマス原料の供給も相変わらず逼迫しており、価格は高値が続いているため、それらに下支えられ、原木価格が下がるにしても大きな下落はないのではないかと考えている。
- ・住宅着工数が減少していること、公共物件における技術者不足の関係から受注がうまく進んでいないこと等、木材需要の減少を危惧している。また、中小の木材業界における後継者不足の問題についても心配している。
- ・原材料の丸太の出荷状況が厳しい状況にあるが、製材価格は横ばいまたは減少傾向にある。木造新築住宅も見通しが悪く先行き不透明な状況と考慮している。
- ・全国新設住宅着工戸数は6ヶ月前年割れだが、持家は35ヶ月ぶりに増加に転じた。しかしながら徳島ではその実感はなく、戸建住宅が建たず、木材需要は低迷。世界的な紛争・政治情勢から経済の先行きが不透明で、取引は当用買いとなっている。こうした中、山からの原木入荷が大きく減っており、「原木高製品安」の状況になっている。林業人材の不足に加えて、夏場の暑さや資材高騰などが影響したものと見られる。
- ・業界からは、近年の中で最も厳しい状況にあるとの意見が多い。
- ・2023年にかけて輸入材から国産材へのシフトで国産材の需要は増えているが、価格はウッドショック以降、下落傾向にあるが高止まりの傾向。かたや、金利上昇や経済状況の変化により住宅需要は減少しているので、安定化するまでには時間がかかるだろう。
- ・府内市場の原木取扱量は時期により増減しているが、総量では昨年並みとなっている。原木価格も上下を繰り返しながら昨年とほぼ同価格で年越しとなったが、バイオマスの需要が旺盛でパルプ、合板との取り合いになり、C・D材が原木価格の底上げになっている。一方、製材品の需要は弱く推移しており、プレカットも80~90%と年前半からはやや持ち直してい

るものの、非住宅案件もほぼ出そう中、今後の需要の落ち込みが懸念され、見通しは厳しい状況が続くことが見込まれる。

- ・令和6年の新設住宅着工戸数も前年を下回る見込みで今後も大幅な回復は見込めない中、原木高にあって製品の価格転嫁も進まず、製材加工業は厳しい経営状況が続いている。
- ・新設住宅着工数は、令和5年は約80万戸、令和6年も同程度以下と低迷、今後ますます市場は縮小していくと予測される中で、木材需要も縮小していくことは避けられない。一方、最近の中大規模木造建築の普及に加えて、令和7年4月施行の改正建築基準法の4号特例縮小を機に木造住宅においても構造計算による対応が増えると思われ、今後JASなどの規格材のニーズが高まると推測される。

2. 需給情報連絡協議会及び毎月の林野庁提供情報について

- ・回答なし

【森林整備センター】

2. 需給情報連絡協議会及び毎月の林野庁提供情報について

- (1) 需給情報連絡協議会の運営や議論の内容に関するご意見・ご提案、協議会構成員と共有したい情報などありましたら、ご自由にご記載下さい。(自由記述)

・需給バランスや新規工場・新規需要（材長等）の情報があると大変ありがたい。

- (2) 協議会事務局が毎月行っている木材需給動向等に関するメール配信について、

- ①メール配信している情報の活用状況について教えてください。

有効回答	8
毎回情報を参考にしている	2
毎回ではないが、情報を参考にすることがある	5
メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない	1
メールを読んだことがない	0

- ②（設問①で「毎回ではないが、情報を参考にすることがある。」、又は「メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない。」、「メールを読んだことがない。」のいずれかを回答した方に質問します。）配信している情報を活用しない理由について、最も当てはまるものを教えてください。

有効回答	6
掲載資料の構成が分かりづらい（メール本文がWebサイトへのリンクのみで、各資料の内容が分からない等）	0
資料のポイントが分かりづらい（グラフの読み解き方が分かりづらい等）	3
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を参考にしている	0
業界紙や一般紙を参考にしている	2
その他	1

具体的な内容：

- ・現状立木販売がなく、保育で発生した素材の販売となるため、伐採時期等が実行者によってある程度限定されてしまう。
- また、素材の搬出先は基本的に県森連委託になるので基本的な採材生産になりやすい。

- ③メール配信について、その他にご意見・ご提案などありましたら、ご自由にご記載下さい。
(自由記述)

- ・複数のリンクを一つのPDF等にまとめて配信できれば見やすい。(現状複数のリンクを一つ一つ確認する必要があるため)
- ・センターとしては県森連等の市場と連携して生産しようと思っているが、こういった材質でどのくらいの径級の何m材が売りやすいのか等の話が聞けるとありがたい。

【都道府県】

2. 需給情報連絡協議会及び毎月の林野庁提供情報について

(1) 需給情報連絡協議会の運営や議論の内容に関するご意見・ご提案、協議会構成員と共有したい情報などありましたら、ご自由にご記載下さい。(自由記述)

- ・業務の参考としたいため、下記の事項について情報があれば共有いただきたい。
 - ①住宅着工件数の減少による木材需給への影響とその対策について
 - ②JAS 構造材の流通状況と普及対策について
 - ③4 号特例縮小の影響により想定される今後の国産 JAS 材及び輸入材の需要動向について
- ・森林資源の成熟により、生産される丸太の大径化が進むことから、大径材の需給動向についても情報交換が必要ではないか。
- ・国産材、合板、構造用集成材、木材チップについては、3 か月に 1 度程度、所属する地区の需給情報を提供いただけるようになればありがたい。
- ・WEB 会議になったことは効率的ではあるが、会員も多いため、毎回全員からの発言を求めていると案外時間を費やしてしまい、また、重複した意見も多いため、市場の動向等が大きく変化した場合や耳寄りな情報がある方を募って発言してもらうようにしてはどうか。例えば会議の前に今回のようなフォームでアンケートを行い、内容に応じて発言者を選定してはどうか。
- ・民間事業体等の委員からの現況報告が大変参考になる。
- ・各自治体等における木材需要創出策の取組状況等
- ・東北地区における中国木材の原木需要への対応について、情報提供してほしい。

(2) 協議会事務局が毎月行っている木材需給動向等に関するメール配信について、

①メール配信している情報の活用状況について教えてください。

有効回答	45
毎回情報を参考にしている	22
毎回ではないが、情報を参考にすることがある	17
メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない	6
メールを読んだことがない	0

②（設問①で「毎回ではないが、情報を参考にすることがある。」、又は「メールは読むが、掲載情報を参考にしたことはない。」、「メールを読んだことがない。」のいずれかを回答した方に質問します。）配信している情報を活用しない理由について、最も当てはまるものを教えてください。

有効回答

24

掲載資料の構成が分かりづらい（メール本文がWebサイトへのリンクのみで、各資料の内容が分からない等）	2
資料のポイントが分かりづらい（グラフの読み解き方が分かりづらい等）	0
林野庁「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」を参考にしている	7
業界紙や一般紙を参考にしている	9
その他	6

- ・木材の情勢を大まかにつかむために掲載情報を参考にしているため、半年に1回程度確認している。
- ・東北地方ではなく、主に首都圏の情報のため。
- ・毎月直接的に参考となる内容がある訳ではないため。
また、全国の動きと県内の動きが必ずしも連動しているものではないため。
- ・毎月の木材価格・需給動向の国産材の情報が、限定された地域の内容のため。
- ・地区の情報が少ない。

③メール配信について、その他にご意見・ご提案などありましたら、ご自由にご記載下さい。

（自由記述）

- ・貴重な情報を共有いただけて有り難い。
- ・今後活用したい。
- ・定期的に配信されるため、参考にしている。
- ・林野庁資料や木材新聞からの情報と重なる部分が多いが、きれいにまとまっているため、全国的な動向を見るのに参考となる。
- ・メールは、各所属1名ではなく、希望者全員に配信してほしい。